

教育

今こそ少人数学級を子どもたちに

長期休校が終わり、学校が再開されましたが、子どもの不安やストレス、学習の遅れは深刻です。

万全な感染対策が必要ですが、「40人学級」では「人との間隔はできるだけ2メートル(最低1メートル)空ける」ことは不可能です。

日本共産党市議団は、一クラス20人程度にするよう求め、必要となる教員と教室の数を質しました。

教育委員会は「小学校で530クラス、中学校で271クラス」を増やす必要があると答えました。

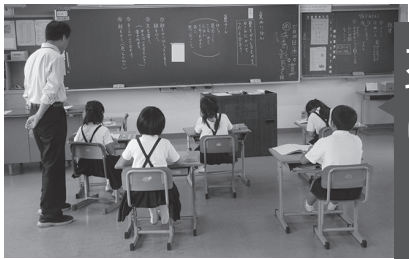
教師がすべての子どもを見る必要はない？

子どもの健康を守り、一人ひとりに柔軟な教育を行うため、教師を抜本的に増やして少人数学級を実現することが今こそ求められます。

福山市は小規模な学校の統廃合を進めています。少人数の学校こそ感染リスクを軽減できます。

統廃合計画の撤回を求めたところ、教育長は「再編を見直す考えはない」とした上で「教師がすべての子どもを見て指導するという立場

一人ひとりを大切に



環境

福山城の景観・憩いの場を奪わないで

福山市は、市が所有する福山駅北口広場の土地をJR西日本所有の駅南側の土地と交換し、北口広場に

JRが6階建てのホテルなどを建設する計画を進めています。

土地交換の差額として5600万円をJRに支払い、北口広場のバス乗降場を福山城東側の緑地公園に移設するために8200万円を支出します。

日本共産党市議団は、福山城の景観を損ない、北口広場の防災上の役割を阻害するとして、計画に反対してきました。民間企業の利益のため

7106筆の声にこたえよ

市民からは、広場や公園を現状のまま残すよ



請願署名の提出に同席する日本共産党市議団(5月)

の計画に税金を使い、住民合意を軽視していることも問題です。

福山城周辺の景観は、住民の生活や文化、歴史、居住環境の一部です。

景観利益は、瀬の浦の埋め立て撤回を求めた訴訟でも認められたように、市民の権利であり、一方的に奪うことは許されません。



市民の憩いの場となっている「石垣公園」

う求める請願が7106筆の署名とともに議会に提出されました。

残念ながら、日本共産党市議団以外のすべての議員が

反対し、請願は否決されましたが、市民団体は計画の撤回を求めて署名運動を続けるということです。

日本共産党市議団も、引き続き力をあわせて取り組みます。

監視

「スーパーシティ」導入やめよ

監視社会を招く危険な個人情報収集

安倍政権は、5月の国会で「スーパーシティ法」を成立させました。

AI(人工知能)やビッグデータを活用し、医療や教育、交通など生活全般にわたるサービスを区域内で行うというもので、特例として様々な規制が緩和されます。

自治体もつ住民のデータや個人の行動・購入履歴、顔認証、健康情報など膨大な情報がまとめて収集され、プライバシーの侵害や情報流出の恐れもあります。

データを分析すれば、個人や人格の特定が可能となり、監視社会を招く危険性も指摘されています。

住民合意が前提とは言え、その方

法は明確に定められておらず、本人の同意なしに個人情報収集される可能性もあります。

先端技術の活用は住民全体の議論の上で

このスーパーシティに福山市は前のめりです。

「まるごと実験都市くくやま」と題して実証実験を進め、民間企業の支援も積極的にしています。

日本共産党市議団は、スーパーシティの問題点を指摘し、導入すべきではないと求めました。

プライバシーと人権を守りつつ、先端技術を住民のためにどう活用するかは住民全体で丁寧に議論することが必要です。社会のあり方を変えようとするスーパーシティを拙速に導入するべきではありません。

国保税の引き下げ

福山市は、今年度の国民健康保険税を1人平均年額1001円引き下げ、10万7683円とします。

市民の声が政治を動かす

国保税の引き下げは、市民から3年間で5回の請願が提出されるなど切実な要求です。日本共産党市議団も長年求め続けてきました。

今回の引き下げは、署名運動と議会論戦の成果ですが、これまで3年連続で合計6252円も増税されており、この程度では不十分です。

昨年度の国保会計は、黒字が4億円余、基金残高は14億円余に上り、財源は十分あります。

さらなる引き下げを実現するため、日本共産党市議団はこれからも全力を尽くします。



請願署名の提出に同席する日本共産党市議団(2019年)

ご意見・ご要望をお寄せください

みよし剛史

みよし剛史の徒然ブログ

TEL 084-994-5013

FAX 084-994-5014

mail miyoshi@f-jcp.com

河村ひろ子

ひろ子ワールド

TEL 084-965-6049

FAX 084-962-1928

mail kawamura@f-jcp.com

高木たけし

たけし通信

TEL 084-972-6830

FAX

mail takagi@f-jcp.com

編集後記

4月の市議選後、コロナ禍のもとで臨時議会、6月議会が開かれました。くらしや地域経済が打撃を受けるなか、政治の責任は重大です。

日本共産党市議団は、改選前の4議席から3議席への後退となりましたが、市民のみなさんの声を市政に届けるため、引き続き全力でがんばります。

